

明治三十三年
三月別
本号發止

廢止

達第六十八號

軍人恩給法ニ據リ恩給請求ニ要スル書式自今別紙ノ通心得ヘシ

明治二十七年五月一日

海軍大臣 伯爵 西郷從道

八十三

海軍

1297

第一書式

服役停年ニ基テ退職及免職恩給請求書
但ニ通添出スヘシ(以下執レモニ通テ送出スヘシ)

(用紙美濃紙)

恩給請求書

某 儀

何年何月何日(被任何官)何々被申付(爾來何箇年服役何年何月何日何々ニ依リ)豫備(後備)
(退役)免官(免役)被仰付(被申付)候ニ就テハ軍人恩給法第何條ニ據リ恩給下賜度證據書類相添此段
請求仕候也

元(軍艦)何々(某團)何々(依職)

何府何郡何町何番地土(平民)

何府何郡何町何番地寄留

官位勳爵 氏 名

年 月 日

海軍大臣舊氏名殿

卒ハ舊所管長官ニ宛ツヘシ(以下之)
(ニ同シ)

附屬スヘキ證據書類

履歴書(第八書式)

第二書式 傷痍疾病ニ基ク退職及免除恩給請求書

(用紙美濃紙)

恩給請求書

某 儀

何年何月何日(被任何官)(何々被申付)爾來何箇年服役何年何月何日(傷痍)疾病ノ故ヲ以テ
(退役)(免官)(免役)被仰付 被申付候ニ就テハ軍人恩給法第何條ニ據リ恩給下賜度證據書類相添此段
請求任候也

年月日

肩書第一書式ニ同シ

職位勲爵 氏 名◎

海軍大臣爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

履歷書 (第八書式)

現認證書 (第五書式若クハ公文ノ寫若クハ口供書)

負傷證書 (第六書式)

診斷證書 (第七書式)

但公務ニ因ラサル傷痍疾病ニ係ルモノハ履歷書并診斷證書ノミ添付スヘシ

第三書式

傷疾疾病重症ニ過キ恩給ノ増加ヲ請
求シ若クハ其恩給ヲ更ニ請求ノトキ

(用紙美濃紙)

恩給請求書

某 儀

何年何月何日ヨリ(傷疾(疾病)ノ故ヲ以テ(恩給及負傷増加恩給下賜(現役ヲ離レ)候處爾來
何々ニ依リ遂ニ重症ニ趨キ別紙診断書ノ通ニ候間御檢査ノ上軍人恩給法第何條ニ據リ恩
給下賜度證據書類相添此段請求仕候也

肩書第一書式ニ同シ

年月日

官位勳爵 氏名

海軍大臣爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

病況書 原因經過療法ヲ詳記シタルモノ

診断證書 (第七書式)

海軍軍醫官ノ診断證書若シ軍醫官ノ診断ヲ受クルコト
能ハサル場合ニ限り地方醫師二名連署捺印シタルモノ

更ニ恩給ヲ請求スルモノハ

履歷書 (第八書式)

現認證書 (第五書式若クハ公文ノ寫若クハ口供書)

負傷證書 (第六書式)

病況書 (全右)

診断證書 (全右)

第四書式

(用紙美濃紙)

給助金請求書

某 儀

何年何月何日被任何官爾來何箇年勤績何年何月何日現役ヲ離シ候ニ就テハ軍人恩給法第何條ニ據リ給助金下賜度證據書類相添此段請求仕候也

肩書第一書式ニ同シ

年月日

官位勳爵 氏 名[㊦]

海軍大臣爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

履歷書 (第八書式)

遺族ヨリ請求ノトキ

給助金請求書

故官位勳爵 氏 名

右現役中何年何月何日死去仕候ニ就テハ軍人恩給法第何條ニ據リ給助金下賜度證據書類相添此段請求仕候也

肩書第一書式ニ同シ

故官位勳爵氏名遺族

年月日

氏 名[㊦]

海軍大臣爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

履歷書 (第八書式)

備考

死者ニ對スル給助金ハ遺産相続人へ賜ハルヘキモノニ付親子又ハ戸主ヨリ請求スヘシ

第五書式

(用紙美濃十三行野紙)

現認證書

右者明治何年何月何日何時何分何所ニ於テ俱ニ砲撃ノ際(何々演習ノ際何々ニ由リ何々ニ觸レシ何々ニ由リ何物ノ爲メニ)何部ニ何傷ヲ受クルヲ現認ス

所轄

職官

氏

名

所轄

職官

氏

名

年月日

職官

氏

名

罹病ニ係ル現認證書ノ書式ハ本證書ニ準ス

備考

本證書ハ他メテ現況ヲ詳記スヘシ
又受認者一名ノ場合ニ在テハ一名ニテ之ヲ作ルヘシ

負傷證書

所轄 職官 氏名 年齢

右者明治何年何月何日何時何分何所ニ於テ何ノ際何ノ爲ニ何ノ部ニ何ノ傷痕ヲ負ヒタル
 ニ由リ診査スルニ何ノ部ニ於テ大サ幾許(何部ヨリ何部ニ亘ル長幾許幅幾許)深サ幾許ノ
 (何部ニ達スル)何創アリ創縁ハ鋭利ニシテ(不正ニ挫斷シテ)創面ヨリ著シク出血シ(微ニ
 出血シ)創底ニ於テ何大ノ骨片折斷シテ移動スルヲ認ム(骨膜ハ僅ニ剝離セントモ骨折ヲ
 認メヌ或ハ何器官ニ損傷ヲ認メヌ)因テ止血法ヲ施シ(何動脈ヲ結紮シ)骨片ヲ拔除シ創面
 ヲ洗滌シ創縁ヲ縫接シテ防腐綑帶ヲ施ス

右證明ス

明治 年 月 日

職官(軍醫官) 氏 名

罹病證書ノ書式ハ本證書ニ準ス

(用紙美濃十三行野紙)

診断證書

所轉 職官 氏名 年齢

右者明治何年何月何日何所ニ於テ何ノ際何ノ爲ニ何ノ部ニ何ノ傷痍ヲ負ヒ何年何月何日
 ヲリ施療(何病院ニ入院施療ノ處何年何月何日何ノ手術ヲ行ヒ何年何月何日傷痍治癒ス
 ト雖モ何ノ部位ヲ失ヒ(何部ノ知覺若クハ運動麻痺ヲ貽シ何ノ機能缺如シ若クハ幾許碍
 クラレ或ハ周圍ノ痲痕若クハ關節面ノ癒著若クハ何ニ由リ何關節ニ強直若クハ變縮ヲ貽
 シ全ク伸縮機能ヲ缺キ若クハ伸展及屈曲ノ角度幾許ニ過キス或ハ視力全ク缺如シ若クハ
 幾許ノ視力ヲ失ヒ或ハ聽覺缺如シ若クハ幾許ノ聽覺ヲ失ヒ)永久服役(或ハ現役)ニ堪ヘ難
 キ者ト診断ス

明治 年 月 日

職官(軍醫官) 氏名

臨監 鎮守府軍醫長 官氏名

疾病ニ係ル診断證書ノ書式ハ本證書ニ準ス

備考 入院患者ニ在リテハ病歴長クテ作ルモノトス

第八書式

履歷明細書

(用紙美濃紙)

| 明治何年 | 何月何日 | 職官 | 氏名 |
|------|------|-----------------------|------------------|
| 同 | 同 | 海軍何等兵夫申付(任何官) | 何縣何市區何町何番地士族(平民) |
| 同 | 同 | 何々ノ科海軍刑法第何條ニ依リ輕禁錮何日 | 何縣何市區何町何番地寄留 |
| 同 | 同 | 任海軍三等兵曹 | 職官氏名 |
| 同 | 同 | 某國(國外)へ航海(但軍艦何乘組) | 何年何月何日生 |
| 同 | 同 | 某地從軍(但軍艦何乘組) | |
| 同 | 同 | 某地へ歸着 | |
| 同 | 同 | 任海軍上等兵曹 | |
| 同 | 同 | 任海軍少尉 | |
| 同 | 同 | 叙正八位 | |
| 同 | 同 | 任海軍大尉 | |
| 同 | 同 | 叙高等官何等 | |
| 同 | 同 | 叙勤何等賜何々章 | |
| 同 | 同 | 何々ニ依リ(豫備)後備(退役)免官(免役) | |

右之通相違無之候也

年月日

職官 位勳爵 氏名

死者ノ遺族へ下付スヘキ履歷書モ之ニ準ス
但與書ヲ要セス又用紙ハ美濃十三行野紙トス

明治三十三年
三月九日
廢止

達第六十九號

海軍兵器造修供給規則左ノ通定ム

明治二十七年五月七日

海軍大臣 伯爵 西郷從道

海軍兵器造修供給規則

第一章 製造、改造、修理

第一條 兵器ノ製造若クハ改造ヲ要スルトキハ造兵廠ニ於テ之ヲ取扱ハシム其注文手續ハ軍務局長之方注文票(第一號)ヲ製シ造兵廠ニ送致スルモノトス但兵器ノ据附モ亦本條ニ準スルコトアルヘシ

第二條 造兵廠ニ於テ注文票ヲ受ケタルトキハ之ニ入費概算及豫定落成期限ヲ記入シ工事又ハ購買ノ手續ニ着手スヘシ又現品落成若クハ購入シタルトキハ其實費並ニ重量等ヲ記入シ其甲號ハ軍務局ニ返附シ乙號ハ之ヲ保存スヘシ

第三條 兵器ノ据附及修理ハ成ルヘク鎮守府ニ於テ之ヲ爲シ其爲シ能ハサルモノニ限リ造兵廠ニ於テ之ヲ爲スヘシ又東京所在各廳ニ係ルモノハ造兵廠ニ於テ之ヲ爲スヘシ但

八十四 海軍

修理ニ當リ一部分ノ新製ヲ要スルトキハ都テ修理トシ取扱フモノトス

鎮守府司令長官ハ便宜ニ依リ部下艦船備附兵器ノ据附及修理ヲ他ノ鎮守府司令長官ニ依托スルコトヲ得

第四條 艦團隊艦長供用兵器ノ据附及修理等新製據付、據付位置變更、修理、改造等ヲ云フ以下同シヲ要スルトキハ其品名

數量及詳細ノ事由ヲ具シ所屬長官ニ申出ツヘシ但艦船他鎮守府管内艦隊ノ艦長ノ司令長官ノ所在ニ違隔ナルトキ

ニ在ルトキハ附近鎮守府司令長官ニ申出又品海碇泊中ハ修理ニ限り造兵廠長ニ請求スルコトヲ得此但書ノ場合ニ於テハ之ヲ其本管鎮守府司令長官艦隊ノ軍艦其他各所附屬艦船ニ在テハ各其長官ヲ經テ報

告スヘシ

第五條 艦隊司令長官各學校長又ハ各廳長ニ於テ供用兵器ノ据附及修理等ヲ必要ト認め

又ハ其具申ヲ受ケ之ヲ至當ト認めタルトキハ艦隊ニ在テハ其艦船所管鎮守府司令長官

ニ兵學校及附屬艦船ニ在テハ兵鎮守府司令長官ニ機關學校及附屬艦船ニ在テハ橫須賀

鎮守府司令長官ニ東京所在各廳ニ在テハ造兵廠長ニ要求スヘシ

第六條 兵備品會計官吏貯藏兵器ノ修理ヲ要スルトキハ品名數量及事由ヲ詳記セル調査ヲ製シ出納命令官ノ認印ヲ受クヘシ但鎮守府ニ在テハ尙司令長官ニ具申スルモノトス

第七條 兵器ノ据付及修理ニシテ鎮守府ニ於テ爲シ能ハサルモノアルトキ鎮守府司令長官ハ兵器工場主管ヲシテ造兵廠長ニ之カ要求ヲ爲サシムヘシ

第八條 鎮守府司令長官又ハ造兵廠長兵器ノ据附及修理等ヲ必要ト認メ又ハ其具申要求ヲ受ケ之ヲ至當ト認メタルトキハ豫算定額内ニ於テ其緩急ヲ量リ新規据附或ハ修理ニ係ルモノハ直チニ工事ニ着手シ据付位置變更及改造ニ係ルモノハ其理由書ニ主務廳長

(造兵廠ニ在
テハ廠長)ノ意見書工事方按(圖面ヲ要スルモ
ノハ之ヲ添付シ)工事日子及一廉毎ノ入費概算書ヲ添ヘ海軍大臣ニ具申シ認可ヲ受ケヘシ但在役艦艇裝備兵器ノ修理或ハ据付ニシテ其工事一週日以上ニ涉ルモノニ着手シタルトキハ着手ト同時ニ竣工豫定期日ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第九條 鎮守府及造兵廠ニ於テハ毎月五日マテニ其前月中ニ要求ヲ受ケタル修理兵器ノ品名數量ヲ調査シ修理兵器報告(第二號書
式ヲ用フ)ヲ軍務局ニ送付スヘシ

第二章 供給、運搬

第十條 鑿國隊校應供用兵器ノ定數ハ兵器簿ヲ以テ之ヲ定メ該簿ニ據リ兵器ノ供給ヲ爲スモノトス但兵器簿制定前ハ豫定兵器簿ニ依リ供給スルコトヲ得

查セシム所轄長ハ精査ノ上意見ヲ附箋シ軍務局長ニ返付ス同局長ハ之ヲ調査シ制定ノ手續ヲ爲スモノトス但新造艦船ニ係ルモノハ艦船造修試験検査規則ニ依リ取計フヘシ

第十一條 兵器ノ供給ハ艦國隊及各廳ニ在テハ其本管鎮守府、東京所在各廳ニ在テハ造兵廠、兵學校及附屬艦船ニ在テハ其鎮守府、機關學校及附屬艦船ニ在テハ横須賀鎮守府貯藏ノモノヲ以テス但艦船他鎮守府管内ニ在ルトキハ附近鎮守府貯藏ノモノヲ以テ供給スルコトヲ得

第十二條 艦船外國航海中或ハ鎮守府遠隔ノ地ニ在ルトキハ甲艦ノ消耗兵器ヲ以テ乙艦ノ缺ヲ補フコトヲ得此場合ニ於テハ各其本管鎮守府ニ報告スヘシ

第十三條 軍樂器ハ横須賀鎮守府ノ管理トシ各軍樂員ニ要スルモノハ各自ニ之ヲ携帯セシムヘシ但左ニ掲クル附屬品ニ限り尙ホ之ヲ他ノ鎮守府ニ備置キ管理セシム

- 指揮杖
- 諸掃除箭
- 諸回螺器
- 舌類
- 鉦類
- 發條類
- 眞鍮樂器類ノ押金
- 針類
- 太鼓換皮
- 太鼓掛革
- 太鼓掛革

太鼓日覆 太鼓撥 太太鼓線

大太鼓締綱 大太鼓締革 大太鼓壺

大太鼓胸當革 小太鼓膝當革 小太鼓響線

樂譜臺 樂譜臺袋 樂譜臺用硝子キヤ

硝子キヤ格納筐 諸冊入胴亂 行進用諸入胴亂

諸挾 諸建 軍樂器要章

第十四條 兵器ノ運搬ハ鎮守府武庫水雷庫及造兵廠ノ負擔トス

第三章 試験、検査

第十五條 鎮守府貯藏兵器ノ試験検査ハ武庫主管及水雷庫主管之ヲ施行スヘシ其施行シ

難キモノハ造兵廠又ハ兵器工場ニ請求スルモノトス

第十六條 艦團隊校應ニ於テ供用兵器ノ試験検査ヲ要スルトキハ造兵廠又ハ鎮守府兵器

工場ニ請求スヘシ但造兵廠又ハ兵器工場ニ於テ施行シ難キモノハ武庫水雷庫ニ請求ス

ルモノトス

第十七條 大砲ハ左ニ定ムル彈數ヲ發射シタル後チハ臆中検査ヲ行フヘシ又砲ニ損傷ヲ

八十六 海軍

生シ或ハ樞要部ノ疵瑕ニシテ漸次増大ノ虞アルトキハ發射數ニ關セス臨時検査ヲ行フ

ヘシ

一 二十四擲砲以上 五十發

一 二十一擲砲以下八十年式十五擲砲及十五擲速射砲 百發

一 八十年前式十五擲砲以下四十斤砲及十二擲速射砲 百五十發

一 五十七密米及四十七密米重速射砲 二百發

一 四十七密米輕速射砲及八擲砲以下 三百發

第十八條 大砲臆中検査ヲ行フトキハ砲身砲架其他附屬品等樞要部ヲ併セ點檢スヘシ又

其検査成績ハ其都度海軍大臣ニ報告スヘシ

第十九條 供用兵器中裝藥火工品ノ類ハ毎年一回時機ヲ見計ヒ試験ヲ受クヘシ但在庫品

第四章 陸揚、搭載

第二十條 鎮守府司令長官艦隊司令長官所屬艦船ニ於テ供用兵器ヲ修理若クハ試験検査

等ノ爲メ一時陸揚セントスルトキ大砲又ハ水雷等ノ如キ本艦ノ勢力ニ關スルモノハ海

軍大臣ノ認可ヲ受ケ其他ハ適宜處分スヘシ又認可ヲ經テ陸揚シタル兵器ヲ再ヒ搭載シ
タルトキハ直ニ其旨ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ但艦船修理中ニ在テハ適宜之ヲ處分シ本
艦ノ勢力ニ關スルモノニ限リ入渠ノ場合ヲ除クノ外其陸揚及搭載ノ都度海軍大臣ニ報
告スルモノトス
艦隊所屬ノ艦船ニ於テハ前項ノ手續ヲ爲ス前豫メ鎮守府又ハ造船廠ニ協議スルモノト
ス

八十七

海軍

1309

號 乙

兵 器 注 文 票

| | | | | |
|--|------------------|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 豫 定 落 成 期 限 明 治 年 月 日 壹 個 ノ 重 量 | 入 費 | 要 摘 及 量 數 名 品 | 造 兵 廠 長 ⓐ | 軍 務 局 長 ⓑ |
| | 實 費 單 價 | | | |
| | 合 價 | | 製 造 科 長 ⓐ | 用 |
| | 合 價 | | 檢 查 科 長 ⓐ | 文 注 |
| | | | 會 計 課 長 ⓐ | 明 治 年 月 日 |

號 甲

兵 器 注 文 票

| | | | | |
|--|------------------|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 豫 定 落 成 期 限 明 治 年 月 日 壹 個 ノ 重 量 | 入 費 | 要 摘 及 量 數 名 品 | 軍 務 局 長 ⓐ | 造 兵 廠 長 ⓑ |
| | 實 費 單 價 | | | |
| | 合 價 | | 第 二 課 長 ⓐ | 用 |
| | 合 價 | | | 文 注 |
| | | | | 明 治 年 月 日 |

(第一號)用紙美濃紙

1310

(第二號)(用紙美濃十三行野紙)

修理兵器報告

砲銃ノ部 又ハ銃守府
又ハ水雷ノ部 又ハ造兵廠

| 年月日 | 請求所名 | 品名 | 數量 | 記 | 事 |
|--------------|------------|---------------------|----|---------------|---|
| 二十七年 四月十日 | 横武庫 一般用 | 八十一年前式十五磅克砲 瓦斯新環 | 二 | 二號砲 a b 號 | |
| 全 | 摩耶 | 八十一年式十五磅克砲 瓦斯新板 | 二 | 二〇號砲 a b 號 | |
| 全 全廿日 | 在庫 一般用 | 端舟電池 | 二 | | |
| 全 全廿四日 | 浪速 | 試驗纏線器 | 一 | | |

備考 砲身、砲架、水雷發射管、探海電燈及發電機等ニシテ番號アルモノハ其番號ヲ、番

號ナキモノハ其符號ヲ品目欄内ニ記入スヘシ但番號及符號ナキモノハ「無號」ト

記スヘシ



海軍

達第七十號

海軍兵器出納規程中左ノ通改正ス

明治二十七年五月七日

海軍大臣 伯爵 西郷從道

第三條ヲ左ノ通改ム

第三條 新製或ハ購入ノ兵器ニシテ造兵廠ニ於テ取扱ヒタルモノハ一時同廠ニ保管シ兵器造修供給規則ニ依リ交附シ又ハ軍務局ノ通牒ニ依リ各所ニ支出スルモノトス其造兵廠ニ於テ取扱ヲ爲サハルモノハ軍務局ノ通牒ニ依リ各所ニ於テ記帳整理ヲ爲スヘシ

第四條中「兵器ヲ要スル」ノ下ニ「カ若クハ定數ヲ變更セントスル」ノ十四字ヲ加フ

第五條中「公試發射等」ヲ「諸演習公試發射若クハ供用兵器試驗用等」ニ改メ「兵器ヲ支出」ノ下ニ「シ及武庫水雷庫貯藏兵器ノ保管ヲ相互轉換」ノ十九字ヲ加フ

第六條第八條及第九條ヲ左ノ通改ム

第六條 兵備品出納命令官ハ配賦又ハ保管轉換ノ兵器並艦隊校應備附定數内若クハ海軍大臣ノ認可シタル兵器及在庫兵器ヲ試驗スル等ノ場合ニ於テ要スル兵器ノ出納命令

八十八 海軍

ヲ發スヘシ其他ハ海軍大臣又ハ鎮守府司令長官ノ命令アルニアラサレハ之ヲ發スルコトヲ得ス但造兵廠ニ於テ造修兵器ノ試驗ニ要スル兵器ノ支出ハ軍務局長ノ承認ヲ受クヘシ

第八條 兵備品會計官吏ハ兵器出納原簿(第一號紙ヲ用フ)ヲ備ヘ兵器ノ出納ヲ登記スヘシ又特用

兵器ヲ區分シ供用代價仕譯書ヲ調製スル爲メ補助簿(第十七號第十八號紙ヲ用フ)ヲ製スヘシ但兵器中合計代價ノミ分明ノモノニシテ各別ニ之カ代價ノ算出ヲ要シ若クハ代價不分明ノモノハ會計官吏其評價ヲ爲シ出納命令官ノ承認ヲ受クヘシ

第九條 艦隊校應ニ於テ定數内若クハ海軍大臣ノ認可シタル兵器ヲ要スルトキハ兵器要求要(第二號紙ヲ用フ)ニ品名數量等必要ノ事項ヲ記シ艦隊校應長及主管者捺印シ兵器造修供給規則ニ依リ請求スヘシ但第五條及第六條但書ノ兵器ヲ要求スルトキハ各其手續ヲ經テ本條ノ請求ヲナスヘシ

第十條末文ニ左ノ通加フ

又兵器ノ配賦若クハ保管ノ轉換ヲ受ケタルトキハ兵器送附票ニ捺印シ庫納ノ命令トシ之ヲ會計官吏ニ附スヘシ

第十一條第一項末文ニ左ノ通加フ

又配賦若クハ保管ノ轉換ニ對スル兵器送附票ヲ下附セラレタルトキハ現品ノ數量ヲ調査シ領収ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

艦隊校處等ニ於テ消耗兵器ヨリ生シタル藥莢及電氣火管体ノ類ニシテ將來使用ノ見込アルモノハ第一項ノ手續ニ依リ還納スヘシ兵備品出納命令官及會計官吏ハ前項ニ依リ庫納ノ手續ヲ爲シ消耗兵器ヨリ生シタルモノトシテ兵器出納原簿ニ受込ムモノトス第十三條第一項中「本營鎮守府」ノ下ニ(軍樂器及附屬品ノ消耗報告ハ横須賀鎮守府)ノ割註及「吳鎮守府」ノ下ニ「機

關學校ハ横須賀鎮守府ニ」ノ十二字ヲ加フ

第十四條第一項中「兵器造修規則」ヲ「兵器造修供給規則」ニ改メ第二項中「兵器ヲ修理シ又ハ在庫兵器ヲ」ヲ「在庫兵器ヲ修理又ハ」ニ割註「第二十號野紙」ヲ「第十七號野紙」ニ改ム

第十七條中「在庫」ノ下ニ「若クハ供用」ノ五字ヲ加フ

第十八條ニ左ノ但書ヲ加フ

八十九 海軍

但試験ノ爲メ支出シタル兵器ノ殘餘ヲ納庫スルトキモ本文ニ依ル

第二十一條中「兵器補充規則第二條」ヲ「兵器造修供給規則第十一條但書」ニ「兵器要求票」ヲ「兵器領收證」ニ「同則第三條」ヲ「同則第十二條」ニ改メ左ノ一項ヲ加フ

吳佐世保兩鎮守府ニ於テ貯藏ノ軍樂器附屬品ヲ軍樂員ニ補充渡ヲ爲シタルトキハ前項前段ニ準シ横須賀鎮守府ニ保管ノ轉換ヲ爲スヘシ

第二十五條中割註「東京所在ノ官廳並兵學校」ノ下ニ「機關學校」ノ四字ヲ加フ

第二十六條中「東京所在ノ官廳及兵學校」ノ下ニ「機關學校」ノ四字及「吳鎮守府司令長官」ニ「下」ニ「機關學校」ニ在テハ横須賀鎮守府司令長官ニ」ノ十九字ヲ加フ

第二十八條中「第十七號書式」ヲ「第十六號書式」ニ「新規渡兵器報告」ヲ「交附兵器報告」ニ「不用還納兵器處分報告」ヲ「還納兵器處分報告」ニ改メ「修理兵器報告」ノ一項ヲ削ル

第二號野紙欄外朱書中「又ハ修理」ノ四字ヲ削リ第六號野紙甲砲銃ノ部軍樂器品名中諸發條、針、卸ノ數稱欄内「個」ヲ「組」ニ改メ全乙水雷ノ部中大粒火藥及安全導火線ノ各欄ヲ削リ第八號書式「庫内兵器支出票」ヲ「庫内兵器出納票」ニ第十四號書式「新規補充渡兵器報告」ヲ「交附兵器報告」ニ第十五號書式「不用還納兵器處分報告」ヲ「還納兵器處分報告」ニ改メ

第十七號及第二十號書式ヲ削リ第十八號書式ヲ第十七號トシ其書式中單價合價ノ欄ヲ
削リ又第十九號書式ヲ第十八號トシ其書式ヲ別紙ノ通改ム

九十

海軍

1314

1315.

艦隊校廳名

品名

(第十八號)

(供用兵器簿用紙)

| 年月日 | 摘要 | 受 | | 拂 | | 計 | 現在高 | 備考 |
|-----|----|----|----|----|----|---|-----|----|
| | | 數量 | 消耗 | 返 | 納 | | | |
| 明治 | 年 | | 數量 | 數量 | 數量 | | | |

達第七十一號

明治二十二年^六達第九十二號兵器造修規則同年^八達第三百十二號同二十三年^三達第百六號大砲中檢査規程同年^十達第三百三十號兵器補充規則同二十四年^二達第二十三號同二十六年^一達第五號軍樂器取扱手續及同年^九達第九十一號ヲ廢ス
明治二十七年五月七日
海軍大臣 伯爵 西郷從道

達第七十一號參照

兵器交換増減等ノトキ取扱方(二十二年達第三百十二號)

兵器運搬資糧ノ件(二十四年達第二十三號)

消耗兵器ヨリ生シタル藥莖打穿等ノ類ニミテ使用ノ見込アルモノ運納并ニ取扱方(二十六年達第九十一號)

九十一
海軍

達第七十二號

糧食經理規程第一表中丙)及在監人糧食品日當内譯表(丙)ヲ左ノ通改正シ第一表備考第十項ヲ削除ス

明治二十七年五月十二日

海軍大臣 伯爵 西郷 從道

在監人糧食(丙)

| 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 附味品 週額調理用 | 小計 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|-----|-----|
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 八〇〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |
| 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | 三〇 | | 三〇〇 | 二二〇 |

九十二 海軍

在監人糧食品日當内譯表 (丙)

| 週日 | 品目 | 口量 | 朝食 | 晝食 | 夕食 |
|-----|-------|-----------------|-----------------|----|----|
| 日曜日 | 白米 | 三〇 _分 | 三〇 _分 | | |
| 月曜日 | 白米 | 三〇 _分 | | | |
| 水曜日 | 生野菜 | 一〇〇 | | | |
| 土曜日 | 麵包 | 一二〇 | | | |
| 日曜日 | 豆 | 三〇 | | | |
| 月曜日 | 乾麵包 | 一二〇 | | | |
| 金曜日 | 豆 | 二〇 | | | |
| 日曜日 | 骨附生獸肉 | 三〇 | | | |
| 土曜日 | 骨附生魚肉 | 四〇 | | | |
| 月曜日 | 骨附生魚肉 | 四〇 | | | |
| 日曜日 | | | 三〇 | | |
| 月曜日 | | | 三〇 | | |
| 水曜日 | | | | 六〇 | |
| 土曜日 | | | | 六〇 | |
| 日曜日 | | | 二〇 | | |
| 月曜日 | | | 二〇 | | |
| 金曜日 | | | 四〇 | | |
| 日曜日 | | | 四〇 | | |
| 月曜日 | | | 五〇 | | |
| 水曜日 | | | 五〇 | | |
| 土曜日 | | | 五〇 | | |
| 日曜日 | | | 五〇 | | |
| 月曜日 | | | 五〇 | | |
| 金曜日 | | | 五〇 | | |
| 日曜日 | | | 五〇 | | |
| 月曜日 | | | 五〇 | | |

達第七十三號

定期高遠方試験規則第十四條ニ左ノ但書ヲ追加ス

明治二十七年五月十五日

海軍大臣 伯爵西郷從道

但本條ノ場合ニ於テハ本規則第一條ノ二十四時間ヲ六時間トシ第八條ノ半時ヲ一時トシ第九條ノ八時間ヲ二時間トス

九十三

海軍

1318

達第七十四號

横須賀鎮守府所管警備艦艇修理ニ付役務ヲ解カル

明治二十七年五月十九日

海軍大臣 伯爵 西郷從道

九十四

海軍

1319

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

明
治
三
十
七
年
五
月
二
十
三
日
廢
止

達第七十五號

佐世保鎮守府所管軍艦島海ヲ豫備艦ト定メラル

明治二十七年五月二十三日

海軍大臣 伯爵西郷從道

達第七十六號

佐世保鎮守府所管豫備艦島海ヲ第一豫備艦ニ編入ス

明治二十七年五月二十三日

海軍大臣 伯爵西郷從道

達第七十七號

島海第一豫備艦タル間別表ノ人員ヲ常置ス

明治二十七年五月二十三日

海軍大臣 伯爵西郷從道

九十五
海軍

島海常置人員表

| 考 備 | 大主計 | | 大軍醫 | | 大機關士 | | 少尉 | | 大尉 | | 少佐 | | 官 名 | 職 名 | 人 員 | 官 名 | 人 員 | 職 名 | 人 員 | |
|--|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| | 主計長 | 主計長 | 軍醫長 | 軍醫長 | 機關長 | 機關長 | 航海士兼分隊長 | 航海士兼分隊長 | 分隊長 | 分隊長 | 艦長 | 艦長 | | | | | | | | |
| 上等兵曹ハ掌砲長ノ職ニ充ツルモノトス 兵曹ハ掌砲長屬、掌帆長屬、接針手、艦長補佐長及各部ノ長ニ充ツルモノトス 掌帆長屬ノ中一人ハ水雷術卒業ノ者ヲ以テ之ニ充テ掌水雷長屬ノ職務ヲ執ラシムル コトヲ得 | 合計六十七名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| | 二等主帳 | 二等主帳 | 二等看護手 | 二等看護手 | 一等機關手 | 二等機關手 | 二等機關手 | 一等船匠手 | 一等船匠手 | 二等兵曹 | 二等兵曹 | 一等兵曹 | 一等兵曹 | 二等兵曹 | 二等兵曹 | 二等兵曹 | 二等兵曹 | 二等兵曹 | 二等兵曹 | 二等兵曹 |
| | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 |
| | 二 | 二 | 一 | 一 | 四 | 一 | 一 | 一 | 一 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| | 四三等厨夫 | 二等厨夫 | 一等厨夫 | 一等厨夫 | 四三等火夫 | 二等火夫 | 一等火夫 | 一等鍛冶 | 一等鍛冶 | 四三等信號兵 | 二等信號兵 | 一等信號兵 | 一等信號兵 | 四三等水兵 | 二等水兵 | 一等水兵 | 一等水兵 | 一等水兵 | 一等水兵 | 一等水兵 |
| | 一 | 一 | 一 | 一 | 七 | 四 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 十 | 八 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 |
| | 三 | 三 | | | 十三 | 十三 | 十三 | 一 | 一 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二十二 | 二十二 | 二十二 | 二十二 | 二十二 | 二十二 | 二十二 |

達第七十八號

横須賀鎮守府所管豫備艦八重山ヲ警備艦ト定メラル

明治二十七年五月二十五日

海軍大臣 伯爵西郷從道

達第七十九號

明治二十六年十月達第百二號ヲ廢ス

希

明治二十七年五月二十五日

海軍大臣 伯爵西郷從道

達第七十九號參照

八重山第一豫備艦タル間警備人員ノ件

九十六

海軍

1322

明治二十七年五月二十九日
海軍大臣 伯爵 西郷 從道

廢止

達第八十號

軍艦現狀報告規則左ノ通定ム但明治二十二年達第二百二十四號ハ本達發布ノ日ヨリ廢止ス

明治二十七年五月二十九日

海軍大臣 伯爵 西郷 從道

軍艦現狀報告規則

第一條 軍艦現狀報告ハ分テ定期報告臨時報告ノ二トス定期報告ハ之ヲ月報トシ毎月一日ニ於テ之ヲ調製シ臨時報告ハ臨時報告ヲ要スルモノアルトキ之ヲ調製スヘシ其様式ハ共ニ別表ニ依ル

第二條 軍艦現狀報告ハ在役艦非役艦ニ在テハ其艦長、豫備艦ニ在テハ豫備艦部長之ヲ調製シ各一通ツ、海軍大臣、海軍軍令部長及所管長官ニ進達スヘシ但乘員ヲ配乗セサル軍艦ニ在テハ此限ニアラス

第三條 軍艦現狀報告ハ軍艦ノ現狀ヲシテ一目瞭然タラシムルヲ目的トス故ニ艦體、兵器、汽機、汽罐等ニ異狀ヲ呈シタル如キハ特ニ簡明ニ其要點ヲ記入スヘシ又報告ニ記入



七十九

海軍

ノ事件前月ニ同シキモノト雖モ之ヲ省略セス報告コトニ一々登記スヘシ但報告ノ記事多クシテ一表ニ記載シ盡サ、ルトキハ二表以上ヲ繼續スルコトヲ得

第四條 左項ノ事件ハ之ヲ臨時報告トシ其發生ノ都度速ニ報告スヘシ但事件ノ急ヲ要スルモノハ先ツ電信ヲ以テシ後チ書面ヲ以テ詳細ヲ報告スルモノトス

一 擱岸坐礁衝突火災等ノ出來事ヲ始メ本艦ノ進退兵備上ニ關スル重要ノ事件發生シタルトキ

二 在役艦ノ修理改造若クハ機關ノ開放検査手入等ニ著手シ急速發航ノ命ニ從フ能ハサルトキ及其事業竣工復舊シ發航ニ差支ナキニ至リタルトキ但修理改造若クハ機關ノ開放検査手入等ニ著手ノ報告ニハ其竣工復舊ノ豫定時日ヲ併記スヘシ

三 豫備艦ノ規定ノ時日內ニ發航シ能ハスト認ムル事業ニ著手シタルトキ及其事業ヲ了リタルトキ

(用紙差誤紙)

軍艦(艦名)現狀臨時現狀報告

明治 年 月 日

在在地名

艦長/豫備艦長姓名印

要旨

著手竣工或ハ
收受豫定月日

| 專記 | 必要ト認ムル修理及總検査ヲ要スルト認ムル時期 | 役務差支ノ有無 | 現月内ニ施行見込ノ検査修理手入等 | 入渠セル期日 外底ノ現狀 | 人員 | 機關 | 兵器 | 船體 | 船具 |
|----|------------------------|---------|------------------|-----------------|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | |

海軍

1324

達第八十一號

明治二十年閣令第十二號外國旅費規則第十九條ニ依リ同則第二號表ノ甲乙汽船賃汽車賃表ノ定額ハ四割ヲ増給シ明治二十年海軍管令第二十七號海軍外國旅費定額表中客舍料食卓料及日當ノ定額ハ二割ヲ増給ス但支那朝鮮ニ旅行スルモノハ此限ニアラス
本令ハ明治二十七年六月一日ヨリ施行ス

明治二十七年五月二十九日

海軍大臣 伯爵西郷從道

九十八

海軍

1325